

第172回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成22年7月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,743	0.33	-0.11	4,067	1.39	-0.14
東部地区	14,355	-0.64	0.23	5,688	0.29	0.24
西部地区	10,704	-1.06	-0.13	4,014	-0.47	-0.12
駅南地区	6,285	-1.61	-0.26	2,670	-0.78	-0.22
半田地区	3,616	0.11	-0.19	1,364	1.03	0.00
横山地区	5,666	-0.59	0.01	1,877	0.58	-0.10
茨目・田尻地区	6,962	0.01	-0.08	2,342	0.55	-0.08
荒浜地区	5,081	-0.99	0.01	2,006	0.30	0.14
その他地区	20,731	-1.83	-0.12	7,174	-0.22	0.05
西山町地区	6,292	-0.44	-0.23	2,123	-0.37	-0.18
高柳町地区	1,926	-2.13	-0.25	848	0.47	-0.23
柏崎市計	91,361	-0.88	-0.07	34,173	0.16	-0.01
刈羽村	4,879	-1.37	-0.02	1,551	0.32	-0.19
小国地区（長岡市）	6,323	-2.33	-0.09	2,134	-0.88	-0.09
出雲崎町	5,134	-2.09	-0.17	1,806	-0.60	-0.11
合計	107,697	-1.05	-0.07	39,664	0.08	-0.03

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で815人、0.88％、刈羽村で68人、1.37％、小国地区（長岡市）で151人、2.33％、出雲崎町で110人、2.09％とそれぞれ減少し、全体では1,144人、1.05％の減少となっている。また、前月比においても、柏崎市で65人、0.07％、刈羽村で1人、0.02％、小国地区で6人、0.09％、出雲崎町で9人、0.17％と減少し、全体では81人、0.07％の減少となった。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で19世帯、0.88％、出雲崎町で11世帯、0.60％と減少したが、柏崎市で57世帯、0.16％、刈羽村で5世帯、0.32％と増加した結果、全体では32世帯、0.08％の増加となっている。また、前月比においては、柏崎市で6世帯、0.01％、刈羽村で3世帯、0.19％、小国地区で2世帯、0.09％、出雲崎町で2世帯、0.11％と減少した結果、全体では13世帯、0.03％と減少している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	988		45.08		-4.26	
月間有効求職者	2,247		5.29		-6.21	
月間有効求人倍率	0.44	0.57	0.12*	0.23*	0.01*	0.02*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

労働需給状況については、平成22年1月分までは「パートを除く常用」の計数を記載していましたが、平成22年2月分からは「パートを含む全数」の計数を記載していますので留意願います。なお、前年同月比では、平成23年1月分まで「パートを除く常用」との比較になっています。

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が988人と前年同月比で307人、45.08％の増加、前月比では44人、4.26％と減少している。

一方、月間有効求職者数は2,247人と前年同月比で113人、5.29％の増加、前月比では149人、6.21％の減少となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.44倍と前年同月比で0.12ポイント上回り、前月比でも0.01ポイント上回っている。なお、県平均0.57倍と比べると0.13ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が393人と前年同月比で242人、38.11％の減少、月間新規求職者数は535人と前年同月比で42人、8.52％と増加した結果、月間新規求人倍率は0.73倍となり、前年同月の1.29倍に比べて0.56ポイントと大幅に悪化している。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成22年7月の年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	17	-25	-10	104	-75
共 同 住 宅	0	-1	-1	2	-2
事 務 所	1	0	1	3	-1
作 業 所・工 場	3	3	3	6	5
営 業 建 物	2	0	-2	7	-8
公 共 建 物	0	-1	0	0	-2
そ の 他	6	-2	-11	49	1
合 計	29	-26	-20	171	-82

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が29件と前年同月比で26件の減少、前月比でも20件の減少となった。工種別における主な増減は、前年同月比では一般住宅（併用）が25件減少、前月比では一般住宅（併用）が10件、その他が11件減少している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が18件、増築が9件、改築が2件となっている。また、一般住宅（併用）17件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が13件（うち新築8件、増築4件、改築1件）、市外施工業者が4件（うち新築3件、増築1件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,021	-0.48	-0.01	16,379	4.55	-2.59
電 力	10,926	-3.13	-0.20	44,243	11.35	9.64

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で316口、0.48%の減少、前月比でも8口、0.01%と減少している。一方、電力においては、前年同月比で354口、3.13%の減少、前月比でも22口、0.20%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で713kwh、4.55%の増加となったものの、前月比では437kwh、2.59%と減少している。一方、電力においては、前年同月比で4,511kwh、11.35%の大幅な増加、前月比でも3,893kwh、9.64%の増加となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	848,692	0.63	-27.89	693,420	-2.86	-4.08
営 業 用	247,309	10.24	19.08	123,620	-2.06	0.22
工 場 用	813,860	27.65	13.70	146,459	-4.97	17.71
官 公 学 校 用	463,426	14.78	72.49	101,555	-2.99	12.24
そ の 他				57	-51.69	16.32
合 計	2,373,287	12.53	0.17	1,065,111	-3.08	0.36

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で264,359m³、12.53%の大幅な増加、前月比でも4,239m³、0.17%と増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではすべての用途で増加、前月比では家庭用を除くすべての用途で増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で33,902m³、3.08%の減少となったものの、前月比では3,887m³、0.36%と増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではすべての用途で減少、前月比では家庭用を除くすべての用途で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	106,097	12.25	18.63	113,815	13.38	20.75
西 山	47,532	-8.47	18.48	45,308	-6.91	25.11
米 山	28,735	4.33	50.01	26,733	3.10	48.60
合 計	182,364	4.81	22.63	185,856	6.21	25.19

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で8,378台、4.81%の増加、前月比では33,661台、22.63%と大幅に増加している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で10,875台、6.21%の増加、前月比では37,399台25.19%の大幅な増加となっている。

インター別で見ると、前年同月比では西山インターで入口・出口ともに減少、一方、柏崎・米山インターではともに増加、前月比ではすべてのインターの入口・出口で大幅な増加となっている。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
未 残	359,488	0.23	-0.62	147,869	1.02	-0.57
平 残	360,048	0.12	-1.47	146,541	1.37	0.15

預金は、末残が前年同月比で845百万円、0.23%の増加となったものの、前月比では2,271百万円、0.62%と減少している。平残においても、前年同月比で453百万円、0.12%の増加、前月比では5,395百万円、1.47%の減少となっている。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で1,499百万円、1.02%の増加となったが、前月比では859百万円、0.57%と減少している。また、平残においては、前年同月比で1,983百万円、1.37%の増加、前月比でも226百万円、0.15%の増加となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	28,476	-22.96	-6.67
交 換 金 額	14,706	-31.72	-23.92
不 渡 り 手 形 枚 数	15	-80.76	-75.80
不 渡 り 手 形 金 額	7	-89.76	-74.13

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で8,489枚、22.96%の減少、前月比でも2,038枚、6.67%と減少している。また、交換金額においても前年同月比で6,831百万円、31.72%の減少、前月比でも4,624百万円、23.92%の減少となっている。なお、不渡手形は15枚、7百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産6件（前年同月6件、前月3件）、負債総額22億円（同42億円、同37億円）となっている。地区別では、下越地区で4件（新潟市3件、五泉市1件）、中越地区で2件（三条市1件、柏崎市1件）、上越地区では発生していない。業種別は、建設業2件、製造業1件、販売業1件、サービス業2件となっており、倒産原因については、販売不振5件、その他1件となっている。

当月の企業倒産は6件、負債総額で22億円と、前年同月比では件数は同数、負債総額では20億円の減少となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していないが、5億円以上の倒産が2件発生した。

県内経済は、持ち直しの動きに広がりが見られるものの、厳しい状況が続いている。企業収益は持ち直してきており、景況感は緩やかな改善が続いている。個人消費・物価は、弱い動きが続くものの、明るさもみられる。また、雇用面は持ち直しているものの、引き続き厳しい状況となっている。なお、為替変動の影響による企業の先行きへの不安も伺える。